

令和6年度第1回茨城県央地域ウェルネス推進協議会 次第

日時：令和6年8月1日（木）午後2時から

場所：水戸市役所 本庁舎4階 政策会議室

1 開 会

2 議 題

(1) 令和6年度社会実験について

ア 株式会社WELL BE INDUSTRYと連携した社会実験について

イ スポーツ・健康フェスティバルにおける社会実験について

3 その他

4 閉 会

【配付資料】

- ・ 次第
- ・ 委員名簿
- ・ 資料1－1 株式会社WELL BE INDUSTRYと連携した社会実験について
- ・ 資料1－2 株式会社WELL BE INDUSTRYと連携した社会実験の周知に関する調査結果
- ・ 資料2 スポーツ・健康フェスティバルにおける社会実験について
- ・ 参考資料1 株式会社WELL BE INDUSTRY会社概要（ガバメントピッチ時提供資料）
- ・ 参考資料2 株式会社WELL BE INDUSTRYプレス案

令和6年度 第1回茨城県央地域ウエルネス推進協議会 委員名簿

令和6年8月1日

1 委員 (順不同 敬称略)

	氏 名	所 属	備 考
1	上 地 勝	茨城大学教育学部教授	会 長
2	村 井 文 江	常磐大学副学長 看護学部教授	副会長
3	篠田 多介志	茨城県国民健康保険団体連合会事務局長	R6.8.1 委嘱
4	金 澤 秀 房	茨城県総合健診協会理事兼事務局長	
5	青木 かを里	水戸市医師会副会長	
6	田 澤 重 伸	水戸市歯科医師会会長	
7	今 井 章 人	水戸薬剤師会会長	R6.8.1 委嘱
8	鈴 木 律 子	水戸商工会議所女性会前会長	
9	多 田 厚 史	水戸市社会福祉協議会事務局長	
10	島 川 清	笠間薬剤師会会長	
11	飛 田 和 明	ひたちなか商工会議所事務局次長	
12	黒 澤 春 美	ひたちなか市食生活改善推進員協議会会長	R6.8.1 委嘱
13	稲 川 敏 夫	那珂市スポーツ推進委員会委員長	
14	大曾根 光江	小美玉市食生活改善推進協議会会長	
15	高 林 修	茨城町ウオーキングの会前会長 (日本ウオーキング協会公認指導員)	
16	大川 きみ子	大洗町食生活改善推進員連絡会会長	
17	萩谷 登喜子	城里町食生活改善推進員協議会前会長	
18	佐 藤 栄 子	東海村健康づくり計画推進委員会委員長	

任期：令和4年11月29日～令和6年11月28日

2 事務局（水戸市）

役職名	氏 名	役職名	氏 名
保健医療部長	小川 佐栄子	保健政策係長	昆 節 夫
健康づくり課長	堀 江 博 之	主 幹	西 山 拓 海
技正兼課長補佐	高 安 克 子		
課長補佐	春 日 剛		

3 関係市町村

市町村名	課名	役職名	氏 名
笠間市	健康医療政策課	係 長	渡部 鉄平
ひたちなか市	健康推進課	参事兼課長	西野 貴弘
		技佐兼係長	佐藤 由季
那珂市	健康推進課	課 長	玉川 祐美子
		課長補佐	飛田 健
小美玉市	健康増進課	課 長	太田 由美江
		健康支援係	塩沢 寿美子
茨城町	健康増進課	課 長	大信 雅一
		技 師	綿引 勇太
大洗町	健康増進課	課 長	本城 正幸
城里町	健康福祉課	課長補佐	木村 和恵
東海村	健康増進課	課 長	佐藤 重雄

株式会社 WELL BE INDUSTRY と連携した社会実験について

1 連携企業に関するこれまでの経緯

時期	内容	詳細
令和 5 年 12 月 26 日	ガバメントピッチ 参加	「運動からはじめる働き盛りの健康戦略～「あの頃」 の自分を取り戻すために～」をテーマに、圏域の抱える 健康課題を全国約 300 の企業に対してプレゼン。
令和 6 年 2 月 22 日	令和 5 年度第 2 回 ウェルネス推進協 議会	ガバメントピッチの結果、提案のあった 15 社のう ち、面談を行う企業 5 社を決定。 令和 6 年度に連携して社会実験を行う企業を選定す る流れについて決定。
3 月中旬	企業と面談	協議会で決定した企業 5 社と面談し、企業の特徴や 連携して社会実験を行うこととなった際のイメージ等 を確認。
3 月下旬	連携企業の決定	面談等の結果、「株式会社 WELL BE INDUSTRY」（以 下「ウェルビー社」という。）と連携して社会実験を行 うことに決定し、連携市町村に共有。
4 月～	社会実験に向けて 協議・調整	関東経済産業局仲介のもと、ウェルビー社と協議を 重ね、社会実験の内容について協議・調整し、現在に 至る。

2 ウェルビー社について

(1) 会社概要

「健康を考えるきっかけの提供」を目指すヘルステックカンパニー

設立	2021 年 9 月
所在地	東京都渋谷区渋谷 3-6-2 エクラートビル 5F
代表取締役	花高 凌
取締役	山本卓満
戦略顧問	西根英一

その他詳細は参考資料 1 参照。

(2) 「WELL BE CHECK」について

ウェルビー社が提供する、未病をスコア化する無料の LINE アプリ。

LINE 上で 50 問の自覚症状チェックに回答することで、心身の未病状態を即時数値化し、AI に相談もできる。

チェックを実施する本人にとっては、自身の未病状態を知ること、健康行動変容のきっかけづくりとなる。

入力情報を確認する管理者にとっては、参加者の行動変容ステージの分布や、健康課題の分析データを得ることができる。

(参考)「WELL BE CHECK」概要

WELL BE CHECK®

LINEの設問だけで生活習慣を最適化

- ①チェック料金無料
- ②面倒な新規登録なし
- ③結果からAIに健康相談



登録はこちらから



ユーザー数
8,000名
突破!!

※本サービスは、情報提供のみを行い、医学的アドバイス、診断、治療、予防などを目的としておりません。

LINEの月間アクティブユーザーは『9,200万以上』、全世代の方が手軽にチェック可能です

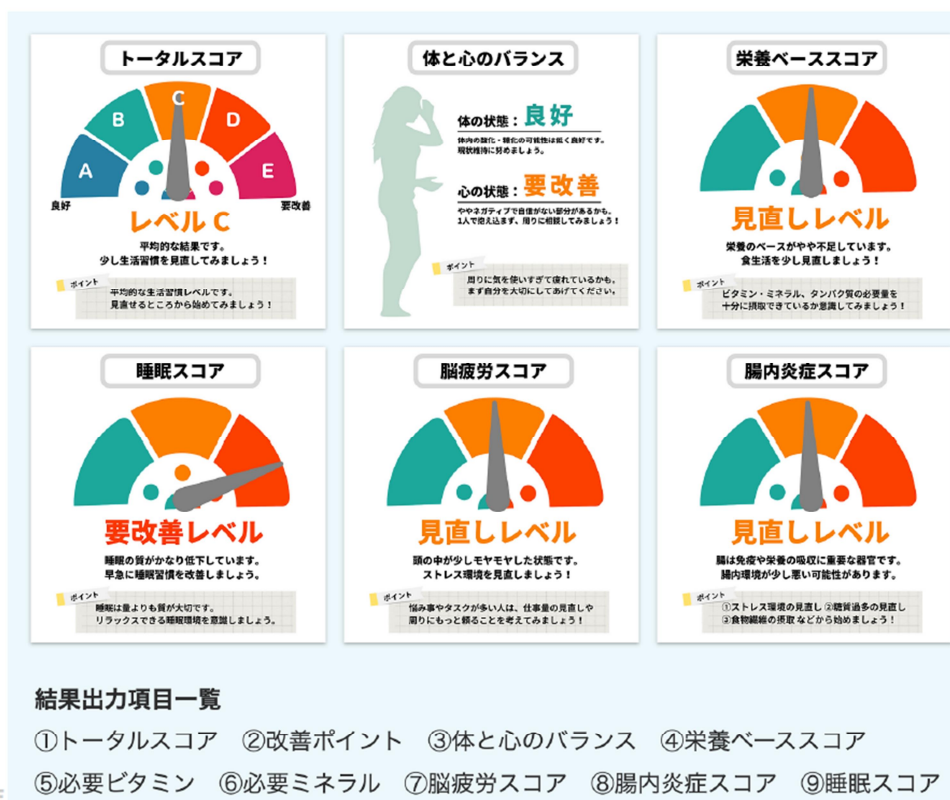
『知って、わかる。』



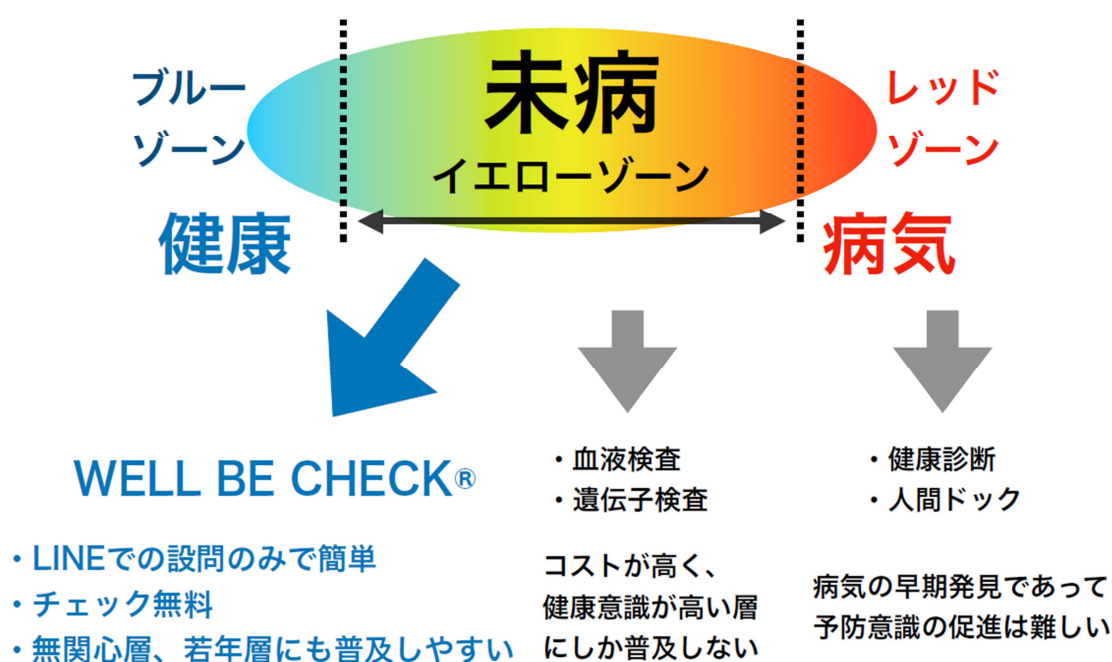
50問の自覚症状
チェック

身心の未病状態
即時数値化

結果をもとに
好きなAIに相談



©株式会社WELL BE



3 ウェルビー社と連携した社会実験について

※ 現在もウェルビー社と協議を続けており、詳細については今後変更する可能性がある。

(1) 概要

「茨城県央 #FeelHealth プロジェクト」と題した社会実験として、圏域住民に「WELL BE CHECK」を利用してもらい、そこで得られるデータから、圏域が抱える健康課題等を分析しつつ、次なる働きかけにつなげていく。

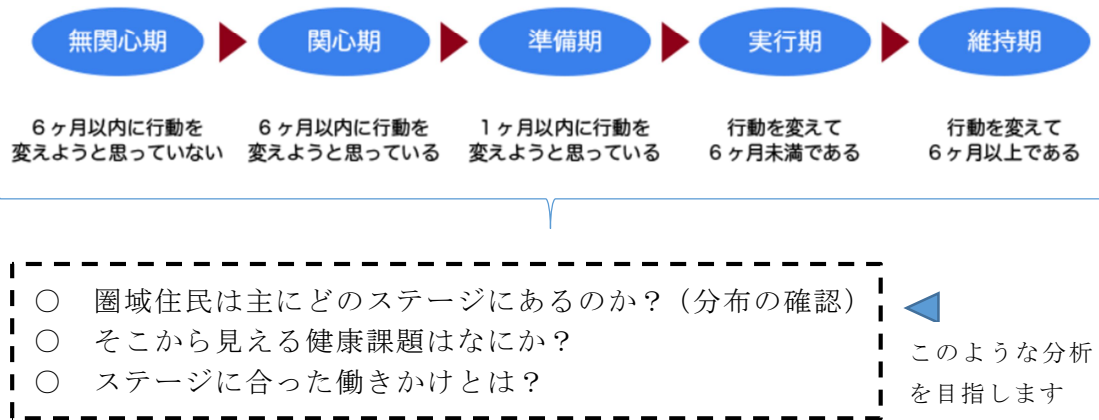
(2) 目的

- ・ LINE というツールを利用して健康づくりの取組を行った際の、住民の反応や参加率を確認し、ICT を活用した健康づくりの有効性について把握する。
- ・ 「WELL BE CHECK」を活用し、現時点の圏域住民の行動変容ステージ（※1）の分布を確認、見える化させる。
- ・ 上記の分析から、圏域が抱える健康課題等を分析し、住民（特に 30 歳代～50 歳代の働き盛り世代）の行動変容に向け、今後どのような施策を行うべきかの検討を行えるようにする。

※1 行動変容ステージ

行動変容とは、健康的な心身を目指すために、生活習慣などの改善を行なうこと。行動変容ステージモデルでは、人が行動（生活習慣）を変える場合、以下の図のように「無関心期」→「関心期」→「準備期」→「実行期」→「維持期」の 5 つのステージを通るとされ、行動変容のステージをひとつでも先に進むには、その人が今どのステージにいるかを把握し、それぞれのステージに合わせた働きかけが必要になる。

図: 行動変容ステージモデル



(3) 対象者

圏域の住民

(4) 実施期間（「WELL BE CHECK」回答期間）

令和6年9月9日（月）～10月31日（木）

(5) 実施内容

ア 住民への周知【担当：各自治体】（資料1－2参照）

各自治体が持つ広報媒体を利用し、本社会実験を住民等へ周知して、できるだけ多くの方に「WELL BE CHECK」を実施してもらう。

広報紙、ホームページ、SNS（LINE、X等）、庁舎内や商業施設へのポスター掲示、各自治体の全職員へ案内、商工会議所を通じて従業員へ案内 等

※ポスター・チラシのデザイン案はウェルビー社で作成予定

イ 「WELL BE CHECK」の実施

住民に「WELL BE CHECK」を実施してもらう。

ウ 実施結果の分析【担当：ウェルビー社】

住民の回答データから、行動変容ステージの分布を性別、年齢別、自治体別等で把握・分析し、それぞれが持つ健康課題を把握する。

（分析サンプル）

Work Life Well-Being Report										
【部署別の平均値比較表】										
		リスクが1番目に高い								
		リスクが2番目に高い								
		リスクが3番目に高い								
各種平均値	A部	B部	C部	D部	E部	F部	G部	H委員会	その他※	全国平均
年齢	48.1	42.3	36.9	35.2	45.2	41.1	34.8	42.9	46.8	40.5
トータルスコア	3.09	3.06	3.04	3.03	3.07	3.03	3.14	3.24	2.97	3.0
BMI	23.4	24.5	24.4	24.2	22.2	23.7	22.9	23.0	23.6	22.2
栄養充足スコア （栄養意識レベル）	69.0	73.5	71.5	69.9	70.7	70.1	64.2	70.4	78.5	67.7
身体活動スコア	62.9	46.3	50.0	56.2	48.6	52.1	30.6	52.1	38.4	56.5
腸内健康スコア	39.0	31.1	30.3	33.6	29.3	34.3	17.2	30.3	22.8	36.6
消化力スコア	37.4	25.7	26.9	31.6	29.3	30.7	18.0	31.8	21.8	34.4
メンタルスコア	63.3	55.5	59.3	58.9	62.9	64.0	27.0	44.0	47.6	57.9
睡眠スコア	77.2	63.2	66.3	71.0	67.9	66.0	36.0	54.6	51.5	73.5
腰痛スコア	66.9	57.2	53.1	58.6	61.8	60.8	29.8	63.0	45.7	61.5
痛みやすい、落ち込みやすい傾向の人数	16	2	4	7	3	5	1	1	3	-
社内コミュニケーション不活性傾向の人数	3	1	2	3	2	1	0	1	3	-
突然の疾病リスク発症傾向の人数	8	1	1	1	1	0	1	0	0	-
休職予備軍傾向の人数	6	1	1	3	2	0	0	0	1	-
パフォーマンスの高い傾向の人数	0	1	0	3	0	0	2	0	2	-
部署別人数	36	10	12	20	15	9	5	8	10	126

【年代別、男女別の平均値比較表】							リスクが1番目に高い			
							リスクが2番目に高い			
各種平均値	10,20代	30代	40代	50代	60代	全国平均	各種平均値	男性	女性	全国平均
年齢	25.0	34.3	45.5	55.0	61.3	40.5	年齢	41.4	45.4	40.5
トータルスコア	3.12	3.02	3.09	3.05	3.16	3.0	トータルスコア	3.06	3.08	3.0
BMI	23.9	23.6	23.2	24.7	23.9	22.2	BMI	24.3	22.2	22.2
栄養充足スコア （栄養意識レベル）	73.3	66.6	70.7	72.3	71.3	67.7	栄養充足スコア （栄養意識レベル）	73.1	64.7	67.7
身体活動スコア	50.1	42.0	52.6	47.5	45.3	56.5	身体活動スコア	49.0	61.2	56.5
腸内健康スコア	30.3	18.5	30.8	29.9	27.0	36.6	腸内健康スコア	29.3	38.6	36.6
消化力スコア	27.7	35.2	28.6	30.1	27.6	34.4	消化力スコア	27.7	36.8	34.4
メンタルスコア	47.4	68.4	60.6	50.8	52.4	57.9	メンタルスコア	52.6	67.7	57.9
睡眠スコア	57.4	75.6	69.0	61.8	64.6	73.5	睡眠スコア	62.0	76.7	73.5
腰痛スコア	51.7	67.6	58.6	67.4	62.3	61.5	腰痛スコア	58.9	66.3	61.5
痛みやすい、落ち込みやすい傾向の人数	6	11	13	8	3	-	痛みやすい、落ち込みやすい傾向の人数	21	21	-
社内コミュニケーション不活性傾向の人数	1	5	7	2	2	-	社内コミュニケーション不活性傾向の人数	19	3	-
突然の疾病リスク発症傾向の人数	1	6	2	3	1	-	突然の疾病リスク発症傾向の人数	5	8	-
休職予備軍傾向の人数	1	6	4	3	0	-	休職予備軍傾向の人数	7	7	-
パフォーマンスの高い傾向の人数	3	2	1	2	0	-	パフォーマンスの高い傾向の人数	7	1	-
部署別人数	21	31	32	35	7	126	部署別人数	85	38	126

(6) 費用

本社会実験における委託料（ウェルビー社に支払う金額）…約 20 万円

4 今後のスケジュール案

時期	内容
8 月	令和 6 年度第 1 回茨城県央地域ウエルネス推進協議会 本社会実験の周知に関する準備
9 月～10 月	社会実験（「WELL BE CHECK」）の周知及び実施
11 月～12 月	結果の分析
令和 7 年 1 月～	次年度以降の実証実験の検討
2 月	第 2 回茨城県央地域ウエルネス推進協議会（予定）

株式会社WELL BE INDUSTRYと連携した
社会実験の周知に関する調査結果

資料 1 - 2

自治体	1 周知に使用可能なSNS					2 自治体公式 LINE 登録者数	3 広報紙掲載の可否		4 商業施設等 ポスター掲載可否	5 自治体職員への 周知可否		6 商工会議所への 周知依頼の可否		7 その他 周知手段	
	LINE	X	Face book	その他											
水戸市	○	○	○	×	-	約60,000人	○	9月15日号	○		○	○		○	まちなかデジタルサイネージ（M-S P O）
笠間市	○	○	○	×	-	約8,000人	○	8月22日号 9月5日号	○		○	○		-	-
ひたちなか市	○	○	×	○	Instagram	約29,600人	○	9月10日号 または 9月25日号 （掲載の1か月前には 原稿を提出。実施 内容決定次第の原稿 提出となる）	○	施設への掲示依頼文 を御用意いただきたい	○	○		○	デジタルサイネージ での表示 （本庁舎、ヘルス・ ケア・センター、ス マイルパス）
那珂市	○	○	○	×	-	約8,000人	○	8月13日号（原稿締 切：7月11日）	×	交渉はできるが、掲 載の確約はできない ため、不可にチェッ クさせていただきま	○	○		○	回覧版（自治会加入 者）
小美玉市	○	×	×	○	Instagram	約3,500人	○	10月24日発行（11月 号） （案件登録は8/30ま で）	×	スーパー・薬局しか ないため	○	○		-	-
茨城町	○	○	×	○	登録制 メール	約2,100人	○	9月15日号 【原稿締切日8月1 5日】	○	イオンタウン水戸南	○	○		-	-
大洗町	○	○	×	×	-	約5,800人	○	日程が決まれば掲載 可能	×	広報で方法確立して いない	○	×	担当課が各事業所へ 直接郵送しなければ ならず、困難なため	○	全戸回覧による周知 可
城里町	×	○	○	×	-	-	○	9月1日号	○	道の駅、エコス	○	×	前例がなく、企業数 も多いため労力が伴 うとのことでお断り をいただいた。	-	-
東海村	○	×	×	×	-	約11,000人	○	9月10日号 9月25 日号のいずれか	×	要交渉のため、現時 点の可否は不明	○	○		-	-
計（○）	8	7	4	3		約128,000人	9	0	5		9	7		4	



いばらき県央地域
CENTRAL AREA OF IBARAKI PREF.

県央地域 住民の皆さまへ お願い。

実施期間

令和6年
00月00日(●)
～
00月00日(●)
参加費無料

水戸市

笠間市

ひたちなか市

那珂市

小美玉市

茨城町

東海村

城里町

大洗町

“健康を感じよう。”

茨城県央#FeelHealthプロジェクト

茨城県央地域(9市町村)に暮らす、働く、学ぶ
方々の健康づくりを盛り上げ、促進していく
プロジェクトです。

皆さまの健康に関するデータから健康課題
に見える化し、より具体的な健康増進
施策の立案に活かしていくことで、健やか
で幸せな地域づくりを目指します。

参加方法



QRから
アクセス



50個の設問に答えるだけ。

皆さまの
チェック結果を
収集

データ分析
課題の発見

課題を元に
施策立案へ

*期間終了後もアプリは使用できるので、継続的にご活用ください。

あなたのチェック結果が街の健康づくりの“種”になる!

WELL BE CHECK®とは?

50個の自覚症状チェックだけで
心身の状態を数値でキャッチ!

チェック時間は5分で完結

チェック料金完全無料

結果からAIに相談できる

●WELL BE CHECK®に関する
お問合せは



株式会社WELL BE INDUSTRY



プロジェクトに
関するお問合せは

<代表窓口>

水戸市 健康づくり課

☎ 029-243-7311

〒310-8610 茨城県水戸市中央1-4-1 開庁時間 午前8時30分～午後5時15分(土曜日、日曜日、祝日、12月29日から1月3日を除く)

皆さまの参加で 街の健康が 進化する！

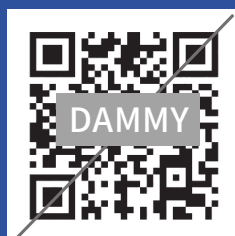
実施期間

令和6年
00月00日(●)
～
00月00日(●)
参加費無料

参加は簡単！



今すぐ
参加！



“健康を感じよう。”

茨城県央#FeelHealthプロジェクト

茨城県央#FeelHealthプロジェクト

茨城県央地域(9市町村)に暮らす、働く、学ぶ方々の健康づくりを盛り上げ、促進していくプロジェクトです。

皆さまの健康に関するデータから健康課題を見える化し、より具体的な健康増進施策の立案に活かしていくことで、健やかで幸せな地域づくりを目指します。

WELL BE CHECK®

50個の設問に答えるだけ。

皆さまの
チェック結果を
収集

データ分析
課題の発見

課題を元に
施策立案へ

* 期間終了後もアプリは使用できるので、継続的にご活用ください。

WELL BE CHECK®とは？

50個の自覚症状チェックだけで
心身の状態を数値でキャッチ！

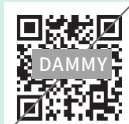


チェック時間は
5分で完結

チェック料金
完全無料

結果から
AIに相談も可能

● WELL BE CHECK®に関するお問合せは
株式会社WELL BE INDUSTRY



プロジェクトに
関するお問合せは

<代表窓口>

水戸市 健康づくり課

☎ 029-243-7311

〒310-8610 茨城県水戸市中央1-4-1 開庁時間 午前8時30分～午後5時15分(土曜日、日曜日、祝日、12月29日から1月3日を除く)

スポーツ・健康フェスティバルにおける社会実験について

1 令和6年度スポーツ・健康フェスティバルについて

(1) 日時

令和7年1月19日（日）午前10時から午後3時まで（予定）

(2) 会場

アダストリアみとアリーナ（水戸市緑町2-3-10）

(3) 内容

- ・SOMPOボールゲームフェスタ（メインアリーナで同時開催）
- ・アクティビティコンテンツ（サブアリーナでストラックアウト、わなげ、ボッチャなど）
- ・健康コンテンツ（ロビーで社会実験を実施）

2 社会実験について

(1) 足の健康診断（株式会社ジャパンヘルスケア）

ア 内容

問診票を記入の上，理学療法士，義肢装具士などが機器を使って足健診を実施する。健診結果をその場で参加者に渡し，足の健康状態についてアドバイスを行う。別途相談が必要な方に対しては，水戸協同病院の協力により，医師との相談窓口を設け，必要があれば医療機関への受診を促す。

今年度は，健診とは別に，足の3Dスキャンの実施を予定している。

（昨年の様子）



（参考）昨年度の実績

- ・日時：令和6年1月14日（日）午前10時から午後3時まで
- ・会場：アダストリアみとアリーナ
- ・足の健康診断参加人数：97名

働き盛りの世代の健康づくりの「本音」にアプローチ
未病をスコア化するLINEアプリが伴走支援
住民一人ひとりに「個別最適化」した行動を提案

株式会社WELL BE INDUSTRY

会社概要

【経営理念】

『未病産業の創出を通じて、すべての人へ健康を考えるきっかけを提供する』

基本情報

株) WELL BE INDUSTRYは「健康を考えるきっかけの提供」を目指すヘルステックカンパニーです。

『ひとつづくり、ものづくり、仕組みづくり』から未病産業を創造していきます。

まだ健康である人の状態（無関心層 等）に対して早期の段階で行動変容を起こすことができることが私たちの強みです。

代表者

代表取締役 花高 凌 取締役 山本卓満
戦略顧問 西根英一 氏

2021年9月設立 従業員数 2名

所在地

〒150-0002

東京都渋谷区渋谷3-6-2 エクラートビル5F

TEL : 080 - 4592 - 0929

①ソフトウェア開発事業

未病状態をLINEでの50問の設問だけで見える化したWELL BE CHECK®の開発を行っております。すでに8,000名以上のユーザーがおり、新機能の開発も順次行っております。

②人材育成事業

未病産業をつくるための人づくりとして『未病栄養コンサルタント®養成講座』を開講しております。すでに200名以上の受講者がおり、未病段階での生活習慣改善法を教えております。

③コミュニティ運営事業

200名以上いる未病栄養コンサルタントの受講者で構成されているコミュニティを運営しております。チーム未病を理念に多種多様な専門家同士の事業提携などを支援しております。

④日用品EC販売事業

コミュニティの中で生まれたアイデアを実際に商品として企画開発し、ECで販売まで行っております。第1弾としては体調にあわせて選ぶハーブソルトの販売を行っております。



会社概要

WELL BE INDUSTRYは未病の見える化を実現し、
『世界に未病産業を創造する新しいヘルスケア企業』です。



花高 凌 代表取締役CEO

1992年生まれ、京都出身。

iPS細胞の基礎研究が行われた奈良先端科学技術大学院大学を卒業。大学院ではがん治療への応用を目指した微生物の遺伝子工学関連の研究を行う。研究の末、治療よりも予防こそが重要であることに気づき、未病産業創出にむけて創業。

- 2015年 滋賀県立大学生物資源管理学科卒
植物遺伝学専攻（イネの品種改良関連）
- 2017年 奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス科卒
システム微生物学専攻（大腸菌の遺伝子工学関連）
- 2017年 某ベンチャー企業勤務
健康食品新規ブランドの企画・開発
- 2018年 株式会社HQC TOKYO設立 代表取締役CEO
- 2021年 株式会社WELL BE INDUSTRY設立 代表取締役CEO



山本 卓満 取締役COO

1992年生まれ、京都出身。

関西での学生時代を経て東京の企業へ就職。その後、東京のベンチャー企業に転職し、健康経営、未病・予防の考え方や健康デバイスの販売、健康食品の新規ブランドの立ち上げなどに携わり、ヘルスケア業界の現状に気づく。また、健康食品の処方設計や生産業務に携わったことで「ビタミン・ミネラル」などの栄養素に知見を持つ。

- 2015年 滋賀県立大学 機械システム工学科
- 2015年 ヘルスケア系ベンチャー企業へ就職
健康食品新規ブランドの企画・開発
- 2018年 株式会社HQC TOKYO設立 取締役COO
- 2021年 臨床分子栄養医学研究会認定カウンセラー 取得
- 2021年 株式会社WELL BE INDUSTRY設立 取締役COO

戦略顧問



西根英一 氏

ヘルスケア（医療・介護、予防・保健、健康・美容）のマーケティング戦略とコミュニケーション設計の専門家として、ビジネスとパブリックとアカデミアの3領域で指揮をとる。

大塚グループ、電通グループ、マッキン・ワールドグループ（最高知識責任者とグループ顧問）を経て、現在、株式会社ヘルスケア・ビジネスナレッジ代表取締役社長、事業構想大学院大学 特任教授、千葉商科大学 特命教授、宣伝会議コピーライター養成講座 講師、一般社団法人日中健康寿命促進協会 日本代表理事ほか。全国各地のヘルスケア産業創出事業、ヘルスケア人材育成事業、ヘルスプロモーション推進事業の戦略顧問や統括コーディネーター、専門アドバイザーなどを務める。

❖主な公的・社会的活動

- ・経済産業省や地方経済産業局、地域版次世代ヘルスケア産業協議会、自治体（産業課）のヘルスケアビジネスに係るヘルスケア産業創出事業、ヘルスケア人材育成事業の戦略顧問や統括コーディネーター
- ・厚生労働省「健康日本21」事業の推進室長として、“健康寿命の延伸”に係る調査分析、戦略策定、世論形成を指揮（2009～2010年）。国家プロジェクトの他、自治体（健康課）のヘルスプロモーションに係る未病対策事業、健康増進事業の戦略顧問や専門アドバイザー
- ・神奈川県の未病産業研究会『西根塾』塾長（2019年～）
- ・健康寿命、未病対策を礎に日中連携の健康ビジネスを創出する「一般社団法人日中健康寿命促進協会」日本代表理事（2019年～）
- ・未病研究の「一般社団法人未病総合研究所」シニアアドバイザー（2019年～）
- ・沖縄県の「地域スポーツ活動・健康力向上事業」委員長（2016年～2019年）
- ・RobiZy（特定非営利活動法人ロボットビジネス支援機構）顧問（2016年～）
- ・国立産業技術総合研究所の「ヘルスケア・サービス効果計測コンソーシアム」役員（2015～2019年）
- ・難病支援活動「ALSコミュニケーション支援委員会」副委員長（2013～2017年）
- ・東北支援活動「おらほのラジオ体操」の発案者、実行委員代表（2011年～）。デザイン・広告業界のアカデミー賞「D&AD賞」のホワイト・ペンシル賞入賞（2012年）

事業内容

①ソフトウェア開発事業

未病状態をLINEでの50問の設問だけで見える化したWELL BE CHECKの開発を行っております。すでに8,000名以上のユーザーがおり、新機能の開発も順次行っております。



②人材教育事業

未病産業をつくるための人づくりとして『未病栄養コンサルタント養成講座』を開講しております。すでに200名以上の受講者がおり、未病段階での生活習慣改善法を教えております。



③コミュニティ運営事業

200名以上いる未病栄養コンサルタントの受講者で構成されているコミュニティを運営しております。チーム未病を理念に多種多様な専門家同士の事業提携などを支援しております。



④日用品EC販売事業

コミュニティの中で生まれたアイデアを実際に商品として企画開発し、ECで販売まで行っております。第1弾としては体調にあわせて選ぶハーブソルトの販売を行っております。



WELL BE CHECK®開発の背景 (技術シーズの概要)

病気になる前に対処する
未病・予防ヘルスケアの産業化が必要です



LINEで誰でも簡単に未病状態を数値化し
生活習慣を最適化するツールがWELL BE CHECK®です

WELL BE CHECK®とは？

WELL BE CHECK®

LINEの設問だけで生活習慣を最適化

- ①チェック料金無料
- ②面倒な新規登録なし
- ③結果からAIに健康相談



登録はこちらから



※本サービスは、情報提供のみを行い、医学的アドバイス、診断、治療、予防などを目的としておりません。

LINEの月間アクティブユーザーは『9,200万以上』、全世代の方が手軽にチェック可能です

WELL BE CHECK®の実施フロー

『知って、わかる。』



50問の自覚症状
チェック

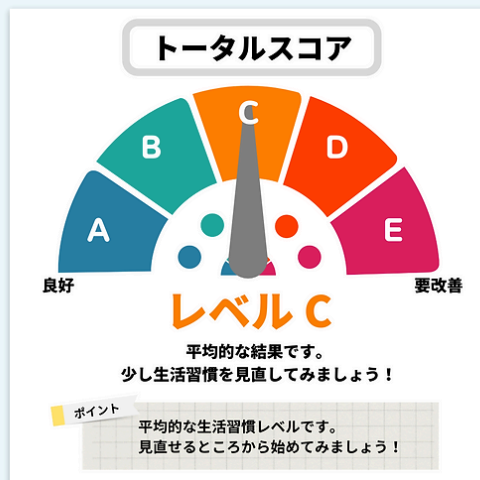


心身の未病状態
即時数値化



結果をもとに
好きなAIに相談

WELL BE CHECK®でわかること



結果出力項目一覧

- ①トータルスコア ②改善ポイント ③体と心のバランス ④栄養ベーススコア
⑤必要ビタミン ⑥必要ミネラル ⑦脳疲労スコア ⑧腸内炎症スコア ⑨睡眠スコア

WELL BE CHECK®の新規性および優位性



WELL BE CHECK®

- LINEでの設問のみで簡単
- チェック無料
- 無関心層、若年層にも普及しやすい

- 血液検査
- 遺伝子検査

コストが高く、
健康意識が高い層
にしか普及しない

- 健康診断
- 人間ドック

病気の早期発見であって
予防意識の促進は難しい

健康見える化 競合比較

健康意識が高い

ウェアラブル端末

遺伝子検査

血液検査

人間ドック

WELL BE
CHECK

健康診断

疾病の
早期発見

健康増進

介入困難領域

健康意識が低い

未病総研の「未病テック」認証

未病総研から未病テックとして認定済み



代表理事
福生吉裕（ふくおよしひろ）
1947年三重県生まれ
日本医科大学卒業
医学博士 日本医科大学連携教授
一般財団法人 博慈会 老人病研究所所長
日本未病システム学会を創立 前理事長
専門領域は動脈硬化、高脂血症、膠原病、老人病の
臨床、物忘れ外来など
現在は主に未病と抗老化の研究を行う



代表理事からのコメント

健康無関心層への動機づけ支援がアウトカム設定されている点において「未病」へのアプローチが明確であり、そこに簡便かつ最新のテクノロジーが導入されていることから今後大いに期待が持たれ、「未病テック」として評価認定するに至りました。

行動変容ステージの引き上げをサポート

LINEシステムにて構築しているため
対象者を絞った「個別配信」通知も可能
(例：腸内環境が悪そうな人にだけ腸活イベント案内を配信)

ヘルスリテラシー向上に寄与!!

& 利益向上に貢献!!



未病状態の
見える化

分子栄養学に
基づいた
自覚症状の設問

LINE上
5分で完結

チェック無料

行動変容ステージの
引き上げをサポート

WELL BE
CHECKの
介入支援



準備期 わかっているが
行動していない

関心期 気づいているが
対処法がわからない

無関心期 健康課題に気づいていない

維持期 行動していて
満足している

実行期 行動しているが
満足していない

提携企業等の
サービス提案

未病者（未病市場）

WELL BE CHECK®を用いて「自身の未病状態を知る」といった
「健康行動変容」のきっかけの場を作ることにより、行動変容ステージを引き上げます

WELL BE CHECK®で健康への関心を引き上げる

WELL BE CHECK®は実施者の「行動変容ステージ」段階を取得可能

東京都 24歳 女性 関心期 → 実行期へ変化

初回関心フェーズ	関心期
2回目関心フェーズ	実行期
3回目関心フェーズ	
初回チェック日	2022年7月23日
2回目チェック日	2022年8月1日
3回目チェック日	

「実行期」に引き上がったことで
よりハイレベルな健康ソリューション
を提案できるようになる。
(例、遺伝子検査、ヘルスツーリズムの提案など)

大阪府 67歳 男性 無関心期 → 準備期へ変化

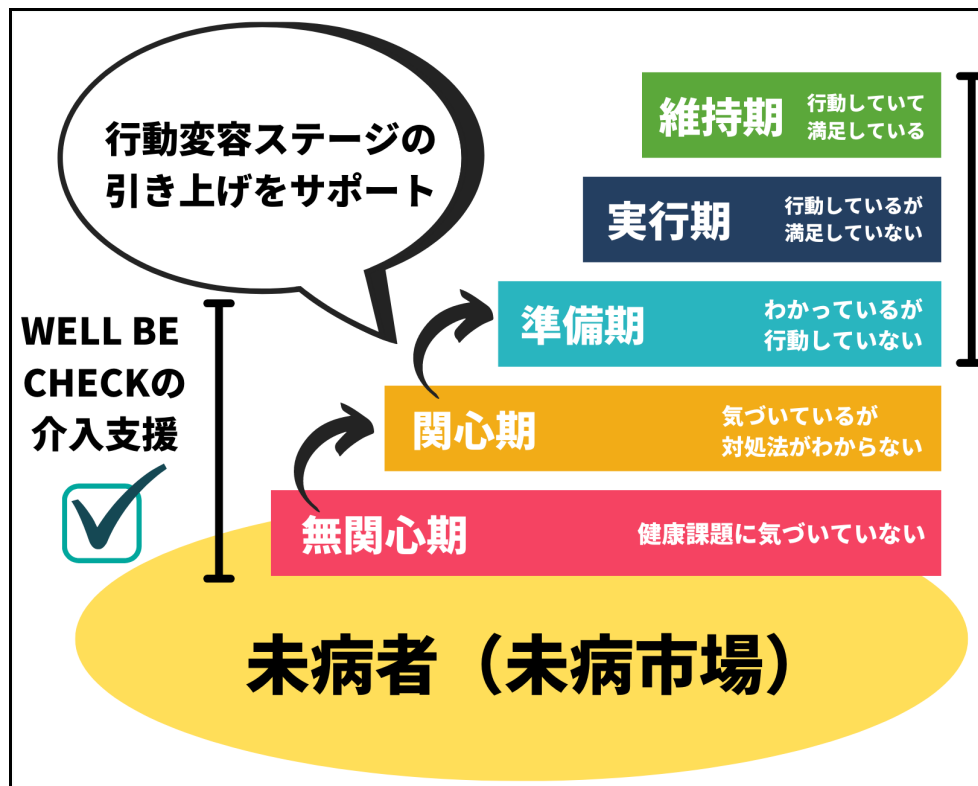
初回関心フェーズ	無関心期
2回目関心フェーズ	準備期
3回目関心フェーズ	
初回チェック日	2022年7月23日
2回目チェック日	2022年7月24日
3回目チェック日	

「無関心期が準備期」に引き上がった
ことにより、地域の健康イベントなどに
興味を持ってもらえるようになる
(例、ウォーキングイベント、フィットネスの提案など)

健康行動ステージには段階がある

自発的な意識向上につながる健康づくりのアプローチ

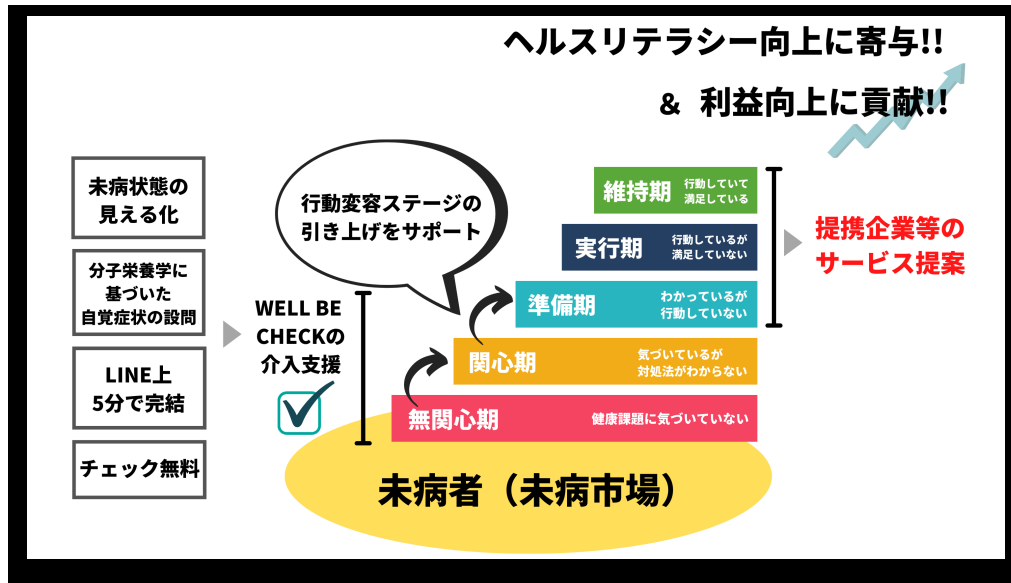
を実現するためには、対象者が「今、何を求めているか？」の分析が必須です



健康づくりのフェーズには
それぞれ個人の「関心度合い」の違いがあります。

それぞれのフェーズの人々に対して
適切な行動変容アプローチをかけないと
健康行動は起こりません

本プロジェクトを成功させる上でのキーポイント



健康づくりを産業化させる鍵は

『行動変容ステージ』の低い対象者の本音を捉えて、ステージを引き上げる

ことにあると私たちは考えています

<想定される効果>

- ・「**無関心期**」から「**関心期**」に行動変容ステージがひき上がると..
 - 「健康診断」の受診率が上がる
 - 「健康イベント」への参加率が上がる
 - 「健康情報」への興味関心が高まる
- ・「**無関心期・関心期**」から「**準備期**」に行動変容ステージがひき上がると..
 - 健康関連の商材（ヘルスケアサービス）の購買提案が可能となる
 - 地産地消の新鮮食材を購買してもらいやすくなる



「職域ヘルスケア」へのアプローチ

企業ごとの「未病段階の統計レポート」を作成し潜在している課題を抽出
そして改善すべきポイントを絞り、アプローチ策を一緒に考えます

Work Life Well-Being Report(サンプル)

【部署別の平均値比較表】

リスクが1番目に高い

リスクが2番目に高い

リスクが3番目に高い

	各種平均値	採用・労務	営業1課	営業2課	総務	企画	保証	事務	開発	人事	その他※	全国平均
【WELL BE CHECK集計】	年齢	40.9	35.0	42.7	27.7	41.8	36.9	46.1	35.1	38.5	43.1	40.5
	トータルスコア	3.07	2.99	3.11	3.12	3.09	3.14	3.12	3.12	3.00	2.97	3.0
	BMI	23.4	22.2	23.2	22.2	24.5	24.1	22.7	23.8	23.0	24.5	22.2
	栄養充足スコア (栄養意識レベル)	55.9	62.2	58.1	60.8	53.2	61.4	60.9	63.3	61.0	64.8	67.7
	炎症体質スコア	67.4	64.0	74.6	82.3	86.0	65.3	65.9	71.6	75.1	68.0	56.5
	腸内炎症スコア	47.0	45.4	43.4	46.0	50.1	44.6	41.5	41.4	43.5	40.3	36.6
	消化力スコア	45.4	41.0	42.2	42.2	47.8	40.3	43.8	38.7	41.2	35.2	34.4
	メンタルスコア	87.0	77.6	83.0	82.5	84.5	65.4	64.4	58.9	72.5	62.9	57.9
	脳疲労スコア	112.3	81.3	83.9	82.7	90.5	94.2	76.7	71.8	84.2	74.9	73.5
	睡眠スコア	84.7	73.3	88.6	90.2	87.3	77.9	75.5	79.0	80.3	70.8	61.5
	悩みやすい、落ち込みやすい傾向の人数	7	6	7	5	5	5	2	9	19	5	-
	社内コミュニケーション不活性傾向の人数	1	2	0	1	2	1	2	2	2	0	-
	突然の疾病リスク発症傾向の人数	1	1	3	0	1	0	2	3	5	1	-
	休職予備軍傾向の人数	2	1	3	3	3	1	1	2	8	2	-
【アンケート】	パフォーマンスの高い傾向の人数	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	-
	プレゼンティズム	70.0	76.4	67.5	60.8	76.3	83.9	72.5	82.1	75.5	81.3	76.2 ←社内平均
	生理不順	1	0	2	1	0	0	0	4	1	1	-
	むくみ・冷え	1	5	4	2	1	2	5	7	13	6	-
	人間関係・孤独感	3	1	2	0	1	1	0	3	3	0	-
	口腔ケア	1	2	2	0	2	3	3	4	8	4	-
	眼の健康	3	4	6	2	4	4	8	8	22	5	-
	食習慣の偏り	1	1	0	2	1	1	2	6	3	2	-
	運動不足	5	5	7	5	4	7	7	16	26	9	-
	ダイエット・体重管理	4	4	6	2	3	3	5	14	24	9	-
	睡眠不足・質の低下	4	2	3	3	5	4	5	8	18	3	-
	慢性的な疲労感	4	2	6	3	2	3	6	5	23	5	-
	ストレスやメンタル	6	5	8	6	7	5	4	15	26	6	-
	その他	0	1	1	0	0	1	0	1	4	0	-
	特になし	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	-
	部署別人数	7	7	10	6	8	9	10	25	39	12	133

「職域ヘルスケア」へのアプローチ

評価セグメントを多くの角度から絞れるため、多視点での「見える化」が可能です
また個別データも取得しているため「未病段階での緊急度の高い方」に
直接LINEにて働きかけを行うこともできます

【年代別、男女別の平均値比較表】

リスクが1番目に高い
リスクが2番目に高い

各種平均値	20代	30代	40代	50代	60代	全国平均
年齢	24.3	34.7	44.7	55.1	62.6	40.5
トータルスコア	3.09	3.05	3.03	3.05	3.20	3.0
BMI	22.3	23.2	24.5	23.7	22.5	22.2
栄養充足スコア (栄養意識レベル)	58.8	61.0	61.4	63.3	61.0	67.7
炎症体質スコア	76.4	74.3	71.0	65.9	64.2	56.5
腸内炎症スコア	47.3	44.5	42.4	37.9	38.8	36.6
消化力スコア	42.5	42.2	40.2	37.9	39.6	34.4
メンタルスコア	81.1	66.2	69.9	66.7	67.2	57.9
脳疲労スコア	86.3	82.7	81.2	82.8	73.2	73.5
睡眠スコア	82.1	80.3	78.1	81.7	74.2	61.5
悩みやすい、落ち込みやすい傾向の人数	22	19	21	7	1	-
社内コミュニケーション不活性傾向の人数	6	3	3	1	0	-
突然の疾病リスク発症傾向の人数	6	4	3	3	1	-
休職予備軍傾向の人数	13	6	7	0	0	-
パフォーマンスの高い傾向の人数	0	1	0	0	0	-
プレゼンティーズム	73.1	77.8	76.8	74.1	84.0	76.2
生理不順	4	2	4	0	0	-
むくみ・冷え	11	14	10	7	4	-
人間関係・孤独感	3	4	5	1	1	-
口腔ケア	2	11	11	3	2	-
眼の健康	18	15	21	9	3	-
食習慣の偏り	4	5	8	2	0	-
運動不足	21	28	28	9	5	-
ダイエット・体重管理	15	19	30	7	3	-
睡眠不足・質の低下	10	19	16	6	4	-
慢性的な疲労感	10	20	16	10	3	-
ストレスやメンタル	25	28	23	9	3	-
その他	1	3	3	1	0	-
特になし	0	1	0	0	0	-
部署別人数	32	40	40	16	5	133

リスクが1番目に高い

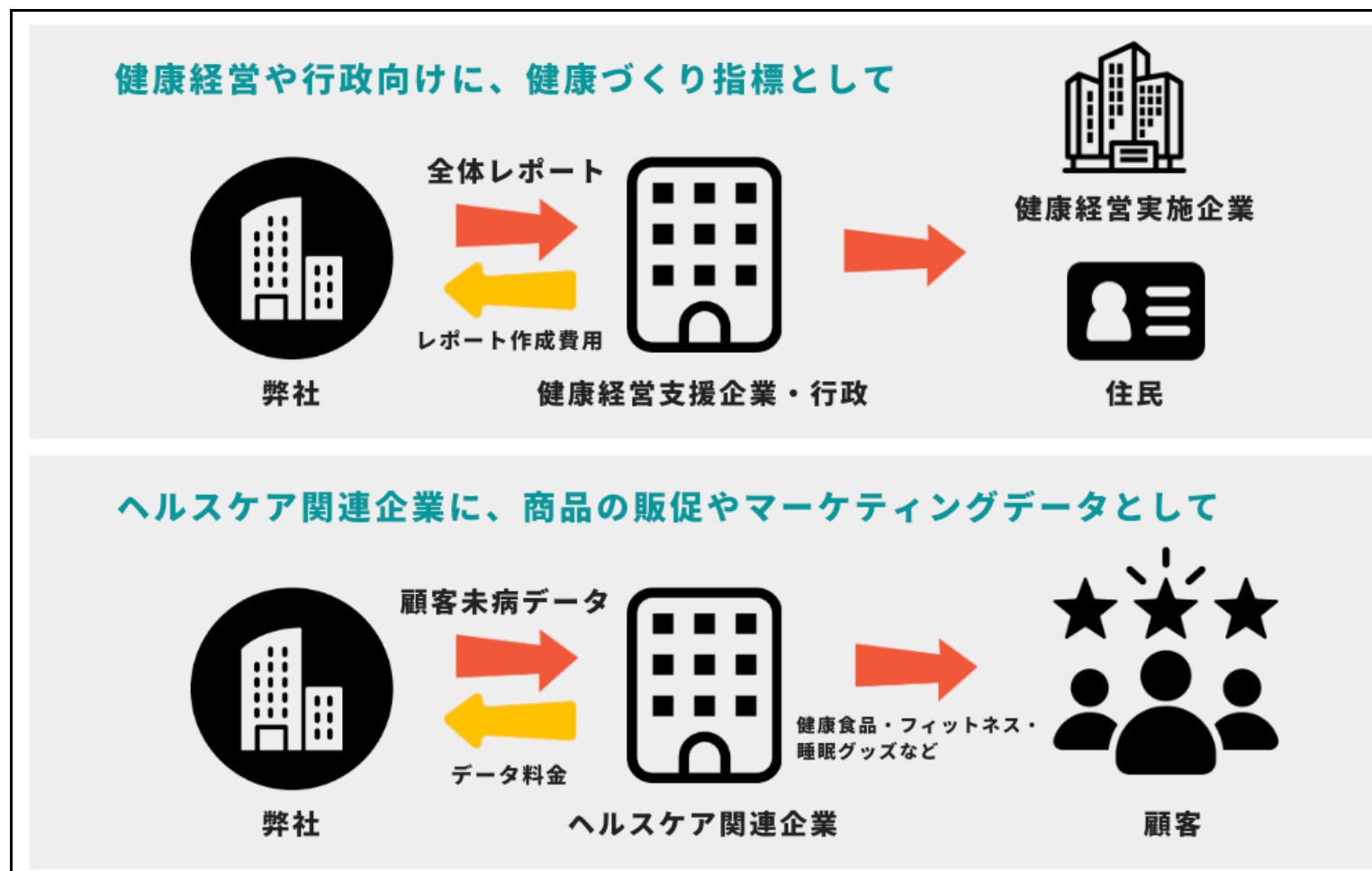
各種平均値	男性	女性	全国平均
年齢	36.6	39.3	40.5
トータルスコア	3.07	3.06	3.0
BMI	25.3	22.8	22.2
栄養充足スコア (栄養意識レベル)	63.8	60.1	67.7
炎症体質スコア	67.7	73.7	56.5
腸内炎症スコア	42.0	43.9	36.6
消化力スコア	36.6	42.3	34.4
メンタルスコア	68.7	71.6	57.9
脳疲労スコア	81.3	83.1	73.5
睡眠スコア	75.3	81.3	61.5
悩みやすい、落ち込みやすい傾向の人数	17	53	-
社内コミュニケーション不活性傾向の人数	5	8	-
突然の疾病リスク発症傾向の人数	4	13	-
休職予備軍傾向の人数	6	20	-
パフォーマンスの高い傾向の人数	1	0	-
プレゼンティーズム	81.3	74.7	76.2
生理不順	0	10	-
むくみ・冷え	1	45	-
人間関係・孤独感	4	10	-
口腔ケア	6	23	-
眼の健康	9	57	-
食習慣の偏り	3	16	-
運動不足	17	74	-
ダイエット・体重管理	13	61	-
睡眠不足・質の低下	11	44	-
慢性的な疲労感	10	49	-
ストレスやメンタル	19	69	-
その他	0	8	-
特になし	1	0	-
部署別人数	29	104	133

健康日本21の第3次ガイドラインに沿ったアプローチ



当社では、新たに始まる「健康日本21第三次」ガイドラインを
包括した形でのアプローチを推進しています

未病ビッグデータの可能性



WELL BE CHECKを用いてハブとなる未病データを集めることで
「個別に合わせた健康づくりアプローチ」や未病市場においては
個々のニーズに合わせたマーケティングにてサービス提供することも可能となります

【案】 茨城県央 #FeelHealth プロジェクト

未病の状態を見える化して、健康を感じよう。

-茨城県内 9 市町村で「#FeelHealth プロジェクト」始まる-

未病の状態を見える化して、健康を感じよう。

-茨城県央 9 市町村で「#FeelHealth プロジェクト」を実施-

いばらき県央地域連携中枢都市圏(※1)における

新コンセプトの健康事業

茨城県水戸市を中心とした、茨城県央 9 市町村(茨城県央地域ウェルネス推進協議会※2)(人口総数:69 万 7 千人)と株式会社 WELL BE INDUSTRY(代表取締役:花高 凌、東京都渋谷区、以下 WBI)は、WBI が企画する #FeelHealth のコンセプトにおいて提携し、住民の健康意識の向上に向けた「健康を、感じよう。茨城県央 #FeelHealth プロジェクト」を実施します。

当プロジェクトは、未病状態のデータの取得、分析を行い、行政ごとに潜在している健康課題解決に向けてのアクションプランを構築することで、健康無関心層が健康の大切さに気づききっかけをつくる、地域ヘルスケアをテーマにした官民連携による取り組みです。茨城県央 9 市町村の人的資源や環境資源をもとに、“健やかで幸せな地域づくり”を目指していきます。

今回は、9～10 月の期間中に茨城県央 9 市町村の住民を対象とした社会実験を行い、自治体ごとの未病ビックデータを分析し、効果的な健康増進施策の立案を目指します。

※1 いばらき県央地域連携中枢都市圏:水戸市、笠間市、ひたちなか市、那珂市、小美玉市、茨城町、大洗町、城里町、東海村の9市町村で構成。地域経済の活性化、都市機能の向上、生活環境の充実に向け、広域的に取り組む連携中枢都市圏である。

※2 茨城県央地域ウエルネス推進協議会:いばらき県央地域連携中枢都市圏で設置されている、圏域の住民の健康増進を目的とした協議会である。

1. プロジェクトの背景と目的

茨城県央 9 市町村の人口は 69 万 7 千人の規模(茨城県の4分の1程度の割合)で、そのプロジェクトの中心となる水戸市は県庁などの行政機関が集まる県の中心地として知られています。県の中心でもある働き盛り世代の人口の多い水戸市を含んだ茨城県央地域ですが、健康づくりの観点から見ると、特に健康無関心層と呼ばれる人々の健康意識の低さが問題となっています。健康無関心層は健康への関心を持ちにくく、健康に対して後回しにする傾向があります。これにより、生活習慣病や心身の健康問題が増加し、住民の健康水準の低下が懸念されます。

茨城県央地域ウェルネス推進協議会では、この健康無関心層に対するアプローチとして、単に健康イベントの開催やインセンティブ提供の施策では成果に限界を感じており、住民の方の現状の未病状態の把握、さらにそこから具体的にどのような方法で健康の大切さに気づききっかけをつくっていくかの新しい施策を希求していました。

当プロジェクトでは、LINE を活用して未病状態を見える化する「WELL BE CHECK®」を用いて、茨城県央地域に住む住民の健康における行動変容ステージを明確化し、具体的な戦略を持って、健康への意識と関心を高める施策を立案、実行することを目指しています。そのために、住民のニーズをしっかりと把握することで、茨城県央地域が健康先進都市を目指す取り組みを推進していきます。

2. プロジェクトの概要

「茨城県央 #FeelHealth プロジェクト」では、茨城県央 9 市町村に暮らす(住む・働く・学ぶ)人たちの「健康づくり」段階に関するビッグデータを取得、そしてそれぞれの段階における行動変容ステージの向上を目指すためのプロジェクトです。健康無関心層がいかに健康の大切さに気づききっかけをつくる《仕掛け》と、自らの健康について知りたい気持ちに応える《仕組み》として「WELL BE CHECK®」を活用します。

具体的な取り組みとして、まずは住む、働く、学ぶ、住民の未病段階での主観ニーズや潜在リスクに関する未病段階におけるビッグデータを WELL BE CHECK®を用いて取得、そして 9 市町村ごと、性別・年代、行動変容ステージなど角度を変えて分析を行うことで各市町村においての潜在する課題を数値化、分析します。さらにその先には、データから得られる 9 市町村ごとに取り組むべき課題を明確にし、次年度以降にかけての健康づくり施策の立案を行います。また、住民の方の行動変容には「その幸せな表情や仕草の根底に健康があること、失いたくないもの考えたときに健康を感じることができる」(#FeelHealth)という、情緒的介入によって「健康行動変容」のきっかけの場を作ることにより、行動変容ステージの引き上げを目指します。

※LINE アプリ「WELL BE CHECK®」については(「特設ページ」にて紹介)

茨城県央 #FeelHealthプロジェクト

茨城県央地域ウェルネス推進協議会

(水戸市、笠間市、ひたちなか市、那珂市、小美玉市、茨城町、大洗町、城里町、東海村の9市町村で構成)

WELL BE CHECK[®]による未病データの取得



自治体ごとの
未病ビッグデータの分析

年代・男女ごとの
未病ビッグデータの分析

行動変容ステージごとの
未病ビッグデータの分析

Work Life Well-Being Report

自治体	年代	性別	健康	生活	仕事	学習	趣味	人間関係	経済	環境	社会	文化	スポーツ	芸術	その他
水戸市	20代	男性	健康	生活	仕事	学習	趣味	人間関係	経済	環境	社会	文化	スポーツ	芸術	その他
水戸市	20代	女性	健康	生活	仕事	学習	趣味	人間関係	経済	環境	社会	文化	スポーツ	芸術	その他
水戸市	30代	男性	健康	生活	仕事	学習	趣味	人間関係	経済	環境	社会	文化	スポーツ	芸術	その他
水戸市	30代	女性	健康	生活	仕事	学習	趣味	人間関係	経済	環境	社会	文化	スポーツ	芸術	その他
水戸市	40代	男性	健康	生活	仕事	学習	趣味	人間関係	経済	環境	社会	文化	スポーツ	芸術	その他
水戸市	40代	女性	健康	生活	仕事	学習	趣味	人間関係	経済	環境	社会	文化	スポーツ	芸術	その他
水戸市	50代	男性	健康	生活	仕事	学習	趣味	人間関係	経済	環境	社会	文化	スポーツ	芸術	その他
水戸市	50代	女性	健康	生活	仕事	学習	趣味	人間関係	経済	環境	社会	文化	スポーツ	芸術	その他
水戸市	60代	男性	健康	生活	仕事	学習	趣味	人間関係	経済	環境	社会	文化	スポーツ	芸術	その他
水戸市	60代	女性	健康	生活	仕事	学習	趣味	人間関係	経済	環境	社会	文化	スポーツ	芸術	その他
水戸市	70代	男性	健康	生活	仕事	学習	趣味	人間関係	経済	環境	社会	文化	スポーツ	芸術	その他
水戸市	70代	女性	健康	生活	仕事	学習	趣味	人間関係	経済	環境	社会	文化	スポーツ	芸術	その他
水戸市	80代	男性	健康	生活	仕事	学習	趣味	人間関係	経済	環境	社会	文化	スポーツ	芸術	その他
水戸市	80代	女性	健康	生活	仕事	学習	趣味	人間関係	経済	環境	社会	文化	スポーツ	芸術	その他
水戸市	90代	男性	健康	生活	仕事	学習	趣味	人間関係	経済	環境	社会	文化	スポーツ	芸術	その他
水戸市	90代	女性	健康	生活	仕事	学習	趣味	人間関係	経済	環境	社会	文化	スポーツ	芸術	その他

Work Life Well-Being Report

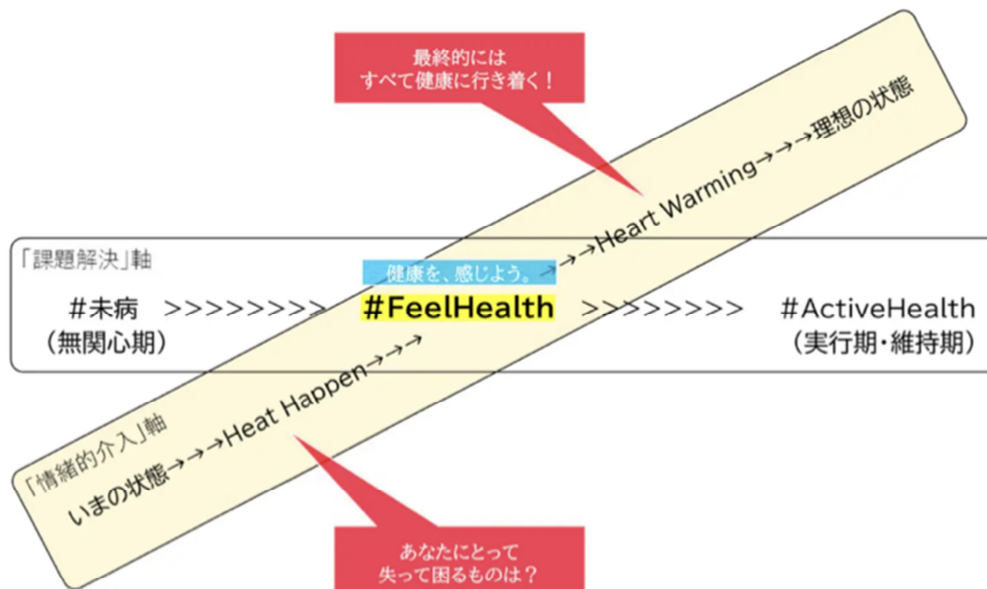
自治体	年代	性別	健康	生活	仕事	学習	趣味	人間関係	経済	環境	社会	文化	スポーツ	芸術	その他
水戸市	20代	男性	健康	生活	仕事	学習	趣味	人間関係	経済	環境	社会	文化	スポーツ	芸術	その他
水戸市	20代	女性	健康	生活	仕事	学習	趣味	人間関係	経済	環境	社会	文化	スポーツ	芸術	その他
水戸市	30代	男性	健康	生活	仕事	学習	趣味	人間関係	経済	環境	社会	文化	スポーツ	芸術	その他
水戸市	30代	女性	健康	生活	仕事	学習	趣味	人間関係	経済	環境	社会	文化	スポーツ	芸術	その他
水戸市	40代	男性	健康	生活	仕事	学習	趣味	人間関係	経済	環境	社会	文化	スポーツ	芸術	その他
水戸市	40代	女性	健康	生活	仕事	学習	趣味	人間関係	経済	環境	社会	文化	スポーツ	芸術	その他
水戸市	50代	男性	健康	生活	仕事	学習	趣味	人間関係	経済	環境	社会	文化	スポーツ	芸術	その他
水戸市	50代	女性	健康	生活	仕事	学習	趣味	人間関係	経済	環境	社会	文化	スポーツ	芸術	その他
水戸市	60代	男性	健康	生活	仕事	学習	趣味	人間関係	経済	環境	社会	文化	スポーツ	芸術	その他
水戸市	60代	女性	健康	生活	仕事	学習	趣味	人間関係	経済	環境	社会	文化	スポーツ	芸術	その他
水戸市	70代	男性	健康	生活	仕事	学習	趣味	人間関係	経済	環境	社会	文化	スポーツ	芸術	その他
水戸市	70代	女性	健康	生活	仕事	学習	趣味	人間関係	経済	環境	社会	文化	スポーツ	芸術	その他
水戸市	80代	男性	健康	生活	仕事	学習	趣味	人間関係	経済	環境	社会	文化	スポーツ	芸術	その他
水戸市	80代	女性	健康	生活	仕事	学習	趣味	人間関係	経済	環境	社会	文化	スポーツ	芸術	その他
水戸市	90代	男性	健康	生活	仕事	学習	趣味	人間関係	経済	環境	社会	文化	スポーツ	芸術	その他
水戸市	90代	女性	健康	生活	仕事	学習	趣味	人間関係	経済	環境	社会	文化	スポーツ	芸術	その他



結果を分析、そして健康を感じる#FeelHealthの観点から戦略を立案。

16

茨城県央 #FeelHealthプロジェクトの概念図



17

3. WELL BE CHECK®とは

LINE で 50 問の自覚症状チェックだけで心身の未病状態を数値化できるツールです。

詳細はこちら

<https://www.wellbe-industry.com/wellbecheck>

■3つの特徴

- ①LINE の設問だけで簡単 5 分で完結
- ②チェック料金完全無料
- ③結果から AI に相談も可能

WELL BE CHECK®とは？

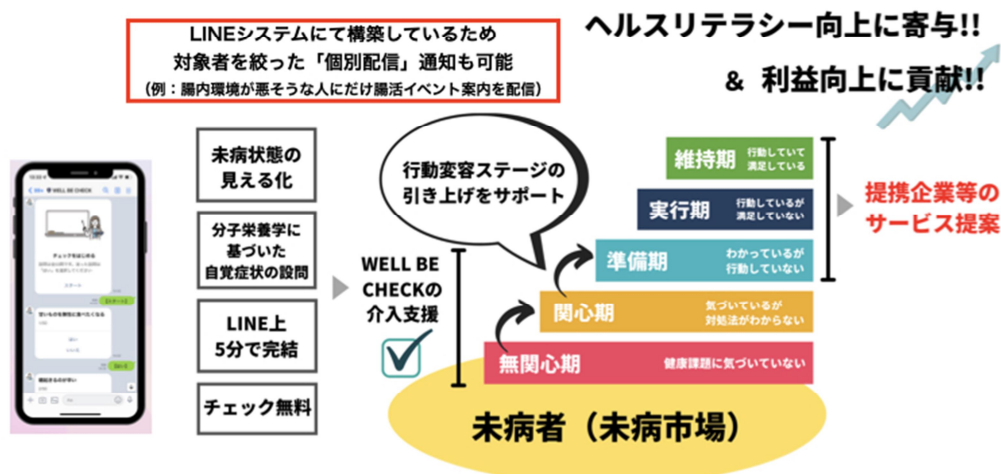
LINEでの50問の自覚症状の設問だけで
心身の未病状態を数値化

1. LINEで簡単5分で完結
2. チェック料金完全無料
3. 結果からAIに相談も可能

メニューデザインのカスタマイズも可能で、かすみがうら市の取り組みの告知や、特定の健康課題の方だけへの配信も可能です。



行動変容ステージの引き上げをサポート



WELL BE CHECK®を用いて「自身の未病状態を知る」といった「健康行動変容」のきっかけの場を作ることにより、行動変容ステージを引き上げます

WELL BE CHECK®で健康への関心を引き上げる

WELL BE CHECK®は実施者の「行動変容ステージ」段階を取得可能

東京都 24歳 女性 関心期 → 実行期へ変化

初回関心フェーズ	関心期
2回目関心フェーズ	実行期
3回目関心フェーズ	
初回チェック日	2022年7月23日
2回目チェック日	2022年8月1日
3回目チェック日	

「実行期」に引き上がったことで
よりハイレベルな健康ソリューション
を提案できるようになる。
(例、遺伝子検査、ヘルスツーリズムの提案など)

大阪府 67歳 男性 無関心期 → 準備期へ変化

初回関心フェーズ	無関心期
2回目関心フェーズ	準備期
3回目関心フェーズ	
初回チェック日	2022年7月23日
2回目チェック日	2022年7月24日
3回目チェック日	

「無関心期」が「準備期」に引き上がった
ことにより、地域の健康イベントなどに
興味を持ってもらえるようになる
(例、ウォーキングイベント、フィットネスの提案など)

4. プロジェクトへの想い

■茨城県央地域ウエルネス推進協議会

茨城県央地域ウエルネス推進協議会では、デジタル技術を活用した健康づくりの充実に向けた、官民連携による健康づくり事業を推進し、新しい健康づくりプロジェクトを実施することで、茨城県央地域の住民の健康増進につながっていくと考えています。

健康は、私たちの生活において非常に重要な価値を持っています。健康であることは、幸福や充実感を感じるための基盤であり、日常生活を豊かに過ごすための重要な要素です。

そこで、「茨城県央#FeelHealth プロジェクト」を通じて、日々の生活の中から健康への関心（健康の大切さの気づき）を高めていきたいと考えています。茨城県央地域に暮らすひとたちの明るい未来を「茨城県央#FeelHealth プロジェクト」で創り上げましょう。

■株式会社 WELL BE INDUSTRY

当社の理念は『すべての人に健康を考えるきっかけを提供する』というもので、私たちは、このプロジェクトを通じて、重要性を示しにくい健康づくりにおける数値化の重要性やエモーショナルな健康づくりの有効性を伝えることができると考えています。

また、官民連携の重要性を認識しており、茨城県央地域ウエルネス推進協議会の関係機関や住民と協力してプロジェクトを推進していきます。私たちは、地域の特性やニーズに合わせた取り組みを行い、地域全体の健康水準の向上と健康先端都市の実現に貢献したいと考えています。

茨城県央#FeelHealth プロジェクトの成功は、私たちにとって大切なミッションです。私たちは、最先端のテクノロジーや専門知識を活用しながら、住民の健康意識の向上と健康への関心の喚起に取り組んでいきます。私たちの想いは、茨城県央地域の未来と住民の健康に寄り添うものであり、情熱を持ってこのプロジェクトを推進していきます。

そして、このプロジェクトが全国の自治体における先行事例となり、未病産業創出に向けた大きな一歩になると確信しております。